

外傷後に疼痛・腫脹および運動機能改善不良を呈した症例に対する炭酸ガス経皮吸収療法併用リハビリテーションの臨床経過 — 後向きケースシリーズ —

1. 研究の対象

2022年9月から2026年2月までの期間に、南和歌山医療センターにおいて、外傷後（骨折を含む）に疼痛、腫脹または運動機能改善不良を呈し、通常のリハビリテーションに併用して炭酸ガス経皮吸収療法を実施した患者。

2. 研究目的・方法

外傷後に疼痛、腫脹および運動機能改善不良を呈し、通常のリハビリテーションの実施が困難であった患者さんについて、診療録に記載された既存の情報を用いて、炭酸ガス経皮吸収療法を併用した臨床経過を後向きに整理し、疼痛軽減および運動療法実施のしやすさの観点から、本療法の臨床的位置づけを検討することを目的としています。

本研究は、研究目的で新たな介入を行うものではなく、日常診療の一環として実施された炭酸ガス経皮吸収療法に関する既存の診療情報のみを用いた後向き観察研究です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、原疾患、受傷部位、治療内容（手術の有無等）、炭酸ガス経皮吸収療法導入の背景（疼痛、腫脹、運動機能改善不良等）、介入前後の関節可動域（ROM）、介入前後の腫脹所見、介入前後の疼痛評価（VAS）、診療録に記載された臨床経過。

また、診療上必要に応じて撮影された単純X線画像を参照する場合がありますが、本研究のために新たな画像撮影は行いません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒646-8558

独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター

研究責任者：所属 リハビリテーション科

氏名 藤澤 秀生

電話：0739-26-7050